

平成31年1月31日

協議会名:酒田～勝浦航路確保維持協議会

評価対象事業名:離島航路運営費等補助事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
酒田市	酒田～勝浦航路	<p>新たな交流人口拡大のため、引き続き発着所でパンフレット設置、動画上映等を実施するなど、鳥海山・飛島ジオパークの積極的なPRにつとめた。また、テレビCMの放映、子ども無料キャンペーンの期間拡張などの取組みも併せて実施した。</p> <p>船舶検査に向けた修繕、代船借り上げは適切に行い、経費削減に努めつつ安心安全な航路の確保に努めた。</p>	A 事業は計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A <p>■旅客人数 計画:22,521人 実績:23,298.5人</p> <p>■達成状況 「酒田～勝浦航路確保維持計画」に掲げる利用促進方策に沿って事業を実施し、目標を達成した。</p> <p>旅客人数の増加は、テレビCMによる告知の実施、子ども無料キャンペーンの実施期間拡張、好天による就航数の増が要因と考えられる。 達成率:103.5%</p>	<p>引き続き、鳥海山・飛島ジオパーク等により更なる観光振興、交流人口拡大の取組みにつとめるとともに、情報発信の充実につとめ、新たな需要の掘り起こしを図る。</p> <p>また、引き続き、船舶検査に向けた修繕、船舶消耗品の管理を適切に実施し、経費節減に努めつつ、運航の安心・安全を確保する。</p>

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A・・・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B・・・事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C・・・事業が計画に位置付けられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A・・・事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)。
- B・・・事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C・・・事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。